

令和2年度 福島県高等学校PTA連合会 健全育成委員会
善行賞表彰一覧

No.	学 校 名	氏名 (学年) ・団体	内 容
1	福島商業	星 陽向 (1年)	令和2年8月11日下校途中、同行していた福島工業高校の生徒とともに、福島駅西口の横断歩道を自転車で渡ろうとしていた女性が急に転倒し、近くにいた男性と共に救急車が来るまで介抱をして付き添って待機していた。男性が119番通報して日陰に女性を座らせ、2人で相談して自動販売機でミネラルウォーターを購入し、「大丈夫ですか」と声をかけ、飲ませるなどした。
2	福島工業	石川 風冴 (1年)	本校石川風冴と福島商業高校1年星陽向は、8月11日(火)午前中、福島駅西口とザ・セレクトン福島の横断歩道で信号待ちしていたところ、対面で自転車に乗って停止していた女性が急に倒れたのに気づき、青信号と同時に女性のところへ行き介抱した。(日陰に移動させ、近くの自動販売機で水を購入し女性に飲ませ励ましの声をかける)
3	福島工業	池田 樹希 (3年) 荻野 晴大 (3年) 木村 飛翼 (3年) 朽木 祐樹 (3年) 齋藤 叶翔 (3年) 佐久間巧実 (3年)	「へたれガンダム」の愛称で地域住民に親しまれている、鉄像の「機動戦士ガンダム像」の持っていた銃の盗難を知り、鉄像に銃を製作し、寄贈した。(資料:6月18日付福島民報・福島民友)
4	保原	高澤 亨太 (2年)	令和2年10月5日に伊達郡川俣町小島地内での行方不明者捜索活動に協力し、男性の救助に貢献した。これにより福島警察署長より感謝状を受けた。
5	郡山	林 心乃華 (2年)	4月の臨時休業期間中、高齢者の方がマスクを求めて、毎朝ドラッグストアに並んでいるのを見て、使い捨てではなく、何回も身につけたいと思えるような布製マスクを作ろうと思い、会津木綿の生地を使ったマスク作りに挑戦し、4月下旬に完成した200枚を郡山市の社会福祉協議会に寄付した。その後、郡山高校周辺の小山田地域の80歳以上の一人暮らし高齢者へ小山田方部の民生委員を通じて届けられた。
6	長沼	伊藤 柊哉 (3年)	8月18日(火)、岩瀬地区内で、首輪とリードのついた疲弊した犬を保護した。本人が地区の駐在所に通報したことを契機に、その情報が持ち主につながり、無事に飼い主のもとに送り届けることができた。8月20日(木)に、感謝の気持ちをお伝えしたいと飼い主の方が来校し、お礼の言葉をいただいた。
7	光南	青木ひらり (1年) 小林 美空 (1年) 渡辺 光貴 (1年) 山下 和汰 (1年) 中島 海斗 (1年) 芳賀 璃音 (2年) 原 麗音奈 (2年)	令和2年5月7日(木)、11時50分頃、1年生5名が帰宅していたところ、本校近くの高架下の道路上で、トラックが荷崩れを起こしゴミが散乱していた。1年生5名がゴミを拾いトラックに積み込むのを手伝った。しばらくして、2年生の女子2名が帰宅のため通りかかり、一緒になってゴミの積み込みを手伝ったもの。

No.	学 校 名	氏名 (学年) ・団体	内 容
8	白河	折橋 晴 (1年)	令和3年1月28日朝、通学途中に事故を発見し、横転した車に閉じ込められていた7歳の女の子と30代の女性を救出した。当初は救助に当たる人がおらず怖さを感じたが、通りかかった会社員と協力し行動した。
9	修明	齋藤 龍弘 (2年) 佐々木結花 (2年) 石井 佑樹 (2年) 高橋 竜星 (2年) 根本 美空 (2年)	令和2年10月28日の下校途中、耳から血を流して苦しそうに倒れている高齢女性を発見し、声をかけた。女性はめまいがひどく立つことが出来なかったため、救急車を要請し、搬送まで付き添った。救急搬送された女性は、入院手術をし無事回復することができた。
10	石川	阿部 愛 (3年) 藤原 柚那 (3年) 矢吹 心哉 (3年)	令和2年7月20日、町内の歩道で手に食器洗い用のスポンジを持ち、スリッパをはいた高齢女性が本校1年生に話しかけていた。1年生が困っている様子だったので、代わって高齢女性に話しかけると、どこへ行こうとしていたのか分からなくなり、また自宅へ帰ることもできないとのことであった。行く先の電話番号を見せてもらうとフリーダイヤルであった。交番へ行くことも考えたが女性が疲れている様子だったので、大人がいる近くの町の文化施設まで一緒に送っていった。
11	小野	福祉教養系列課題研究 (福祉科) 吉田亜衣 (3年) 石塚萌唯 (3年)	「ヘッドネーション」の取り組みを知り、総合的な探究の時間を使いポスターを作るなどして、校内や近隣の小学校、中学校で協力を呼びかけた。また、病気などで髪を失った子どもたちへ、自身の頭髪を「ヘッドネーション」を支援する小野町ライオンズクラブ (LC) に提供し、地域に貢献した。
12	郡山萌世 (定時制)	外川 天貴 (3年)	高校在学中、継続して地域のボランティア活動に積極的に携わった為。小学生への支援活動として、一般財団法人グレースコミュニティサービスの運営する郡山グレースガーデンチャペルにおいて、サマースクールでの学習支援や、月1回実施されるドリームキッズパーティーでの体を使ったゲームや工作など体験活動の補助をおこなった。また、本校においても、読み聞かせボランティアの中心となり、地域の保育園や老人施設などを訪問し、紙芝居や絵本の読み聞かせ活動をおこなっている。
13	会津学鳳	高橋 采良 (3年)	通学列車の中で倒れた他校の女子生徒に声をかけ、途中の駅で一緒に降り、母親に引き渡すまで付き添い、大事には至らず、感謝された。
14	会津工業	渡部 拓己 (3年) 奥村 圭太 (2年) 齋藤 愛斗 (2年) 長谷川和喜 (2年)	令和2年6月16日 (火) 21時過ぎに、日新館スイミングスクールの向かいの通りを自転車で帰宅中 (4名)、目の前の男性が膝から崩れ落ちる感じで転倒したため介助した。鼻や肘から出血があり、ティッシュを差し出したり、歩道わきのベンチで休んでもらったりした。タクシーを提案したが自宅 (西年貢町) まで歩いていくというので、一人がそばを歩き、他の3名は自転車を押しながら同行した。その間も何度も転倒 (5回くらい) し、頭を打つなどしたため「救急車を呼びますよ」と声をかけて電話をした。救急車が来るまでの間、安全を確保しその場で待機した。救急隊員には氏名と住所を伝え、解散した。

No.	学 校 名	氏名 (学年) ・団体	内 容
15	大沼	美術部	町おこし事業として、会津美里町（高田）の新富座（映画館）の復興リノベーションに関わる映画看板制作やイベントボランティアに参加し地域と学校の関わりの向上に貢献した。また、校舎内外、町内の清掃活動も行っている。 ※ 美術部として推薦
16	平工業	生徒会	○ コロナ禍で学校が長期休校になり、生徒達の学習が遅れました。生徒達は、校内での学習環境を整えることを考案し、図書館のテーブルに衝立を設置し、飛沫感染防止対策を施すことを考案しました。多くの生徒に活用してもらうために、衝立を10セット製作し設置しました。 好評だったため、近隣の中学校へも役立ててもらいたいと思い声掛けしたところ、平二中・湯本二中・江名中から設置要望があったため、計16セットを製作し寄贈しました。 ○ アフリカ・マリ共和国へジャージや運動靴等の支援物資を1月と11月に計794点を発送した。（15年間継続） ○ ペットボトルキャップ回収による世界の子供たちにワクチンを贈る活動を13年間継続しており、今年2,380人分(205万個, 1,720kg)を達成した。 ※ 生徒会として推薦
17	いわき海星	蒲生 侑斗（3年） 佐藤 佑樹（3年） 陣野 竣（3年）	入学時より、いわき市の伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」を継承する「チームじゃんがら」に所属し、震災後の地元復興と鎮魂、風評被害払拭および伝統芸能の継承のため、3年間「じゃんがら念仏踊り」を披露してきた。また、老人ホームや介護施設などにおいても披露し、活発にボランティア活動を展開し社会貢献に努めた。
18	磐城農業	吉田 翔太郎（2年）	令和2年9月28日14:00～14:30、常磐線下り電車内にて大学生が倒れた。その場に居合わせた生徒が声掛けを行い、スポーツ飲料を飲ませるなどして介抱した。その後、いわき駅の救護室まで付き添った。
19	好間	二宮 清峰（3年）	令和2年10月9日（金）15時10分頃、本校の1年生男子生徒が好間川沿いの道を自転車で下校途中に、マルト好間店付近の土手から自転車とともに滑り落ち、額を二針縫う怪我をした。その現場に通りがかった本校3年生の二宮清峰が救急車と学校に連絡を取り、担任と保護者が現場に到着するまで付き添い、救急車で搬送されるまで励ましの声を掛け続けた。